

主婦連合会社会部 100人アンケート 第9回「乾電池」

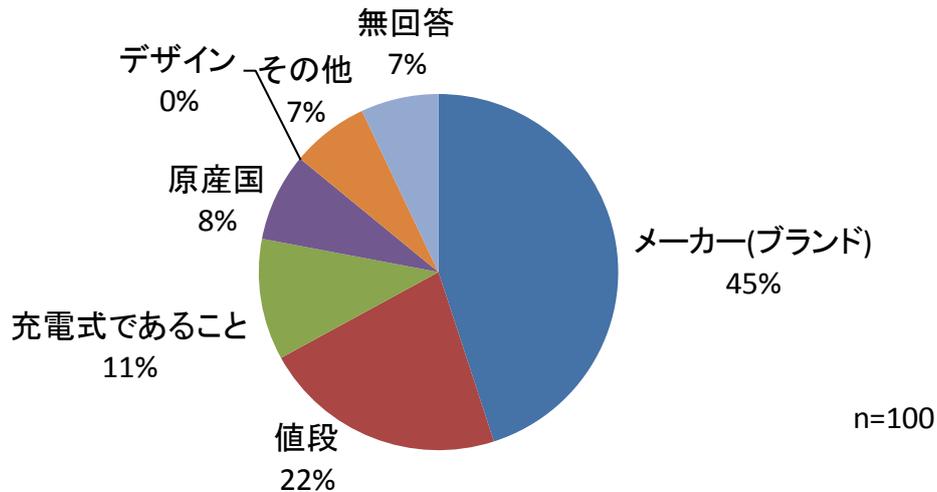
実施期間 2012年5月27日～2012年6月7日

配布数 100

回答数 93

回答率 93.0%

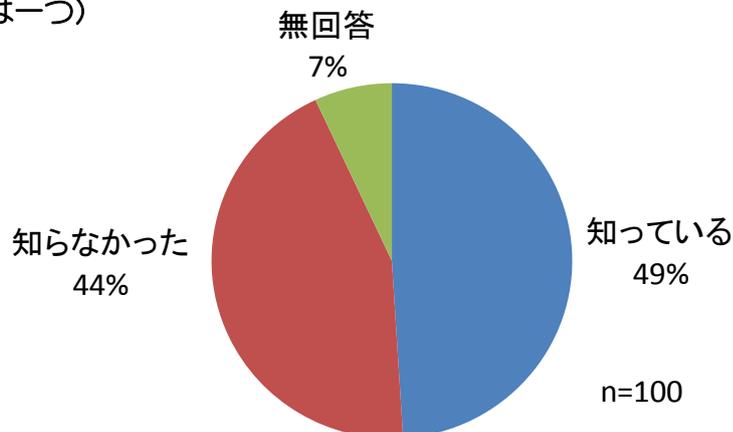
Q1. 家電製品のリモコンや子ども用の玩具などに乾電池が数多く使用されています。
あなたが乾電池を買うときに、一番優先することは何ですか？(答えは一つ)



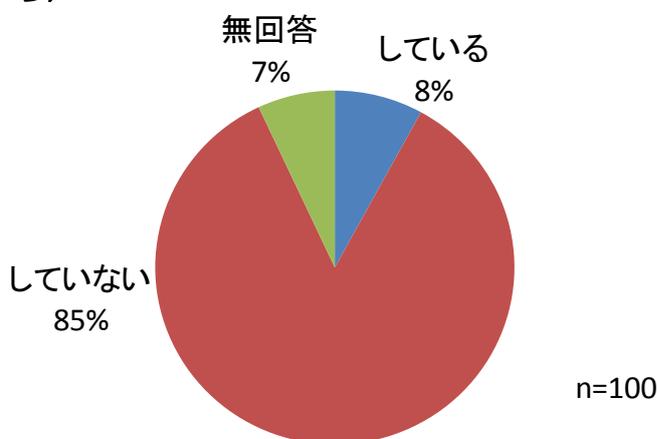
【その他回答より】

- ・長持ちするため、値段が高いアルカリ電池を選ぶ
- ・電池の内容(リチウム、アルカリ、マンガンなど)マンガンは安くて長持ちしないので買わない。
- ・お店にある物を買う
- ・できるだけ使用目的に合わせたもの(アルカリかマンガンか)

Q2. 乾電池には品種ごとに使用推奨期限が設定されていることをご存じですか？
(答えは一つ)



Q3. 乾電池を捨てる時には、+、-極にセロハンテープなどを貼って絶縁していますか？
(答えは一つ)



【まとめ】

乾電池を選ぶときに一番優先することは、「メーカー(ブランド)」が45%と最も多く、次いで「値段」が22%となっています。また、繰り返し使える「充電式であること」との回答も11%となっています。

乾電池に「使用推奨期限」が設定されていることは、49%と約半数が「知っている」と回答しています。「使用推奨期限」は未使用の乾電池が、使用に十分な性能を発揮する期限の目安です。期限が過ぎると使えなくなるわけではありませんが、使わなくても、古くなると性能が劣化したり、液漏れしやすくなりますので、この期限内に使用するとよいでしょう。この表示は、電池本体またはパッケージにあります。

乾電池を捨てる時に、+、-極にセロハンテープなどを貼って絶縁していると回答したのは、8%となっており、ほとんどの人が絶縁をせずに捨てていることがわかります。乾電池は使い切ったつもりでも、まだ電気容量が残っている場合があります。絶縁をしていないと他の金属と触れて発熱・破裂などの事故につながる場合があります。捨てる時には、すべての+、-極にセロハンテープを貼って絶縁するようにしましょう。

乾電池は、ほぼ完全にリサイクルされますので、廃棄は、住んでいる所(各自治体)の回収方法に従って捨てるようにしましょう。また、充電式の電池は再生資源の利用促進法(リサイクル法)の指定商品となっていますので、電気店などの回収箱へ入れてリサイクルしましょう。

自由回答には、残量がわからない・種類が多すぎる・充電式が身近ではない…などの声が寄せられました。乾電池は身近な製品ですので、今後さらに使いやすくなる様、改善されることが求められています。



※乾電池についてご意見から

- 電池の種類、規格はどうしてあんなに多いのでしょうか？必然的な意味があるのかもしれませんが、いろいろな意味でエコ&エコノミーではないですよね？充電式後の展開に期待しています。
- 中身が見えないので、メーカーで選択するしかないとあきらめています。
- 1個必要なのに、複数個包装になっています。これって抱き合わせ商品では、と苦々しく思っています。
- 充電式は魅力ですがまだ身近な商品になっていません。
- さまざまなメーカーからいろいろな種類の乾電池が売り出されているが、一般的なアルカリ乾電池でも選択する際に性能、品質、価格、安全性などどれを優先したらよいか迷う時がある。震災の時には災害用品として必需品なので入手困難だった。
- 充電器も買ってあるのですが、つい、そのままになってしまっています。買い置きしても、Q2(使用推奨期限)の期限があるので、このアンケートを機に充電器を使うようにしたいと思いました。Q3については、まとめて袋に入れて、回収日に出すか、近くの生協の回収ボックスに入れます。JISに関する主婦連での取り組みは長いので、様々な角度から学ぶ機会もいただけてきましたが、世界共通の互換性を持つ、というところでは、乾電池は、大変便利に使うことができて利便性大です。海外でのカメラの電池やおもちゃのそのの交換も、現地で調達してできますので、その実感が身にしみています。
- 乾電池の捨て方がわかりにくいことや、ある程度たまってから捨てようと考えているうちに使用済みの乾電池がたくさん溜まってしまっていました。最近は充電式の乾電池を購入して、捨てずにリサイクルして使うように心がけています。
- 乾電池は使用箇所が多く予備を持っているが、寿命の残量がどの程度か分からず不便を感じる。

